

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症もようやく落ち着きを見せ始め、少しずつ日常生活が戻ってきたことが実感できた年だったのではないのでしょうか。長柄町におきましては、念願の新公民館「ながランホール」がグランドオープンし、文化祭や農林商工祭りでは、多数の芸人さんをお迎えして盛大に行うことができました。加えて、5年ぶりとなる町一周駅伝大会も無事開催され、久しぶりに賑やかな様子を見ることができました。

さて、圏央道の「茂原長柄スマートインターチェンジ」が開通して、まもなく4年を迎えます。房総半島の道路交通事情が一気に変わる県内全線開通が2年後との報道もあります。鉄道のない本町にとって、道路で全国とつながる、まさに玄関口として本領を発揮するチャンスが目の前に来ていると考えています。都心に近い立地条件を生かし、企業誘致活動など、今年はこれまでと違った町の活性化対策に取り組んでまいります。

また、「千葉県一子育てに優しい長柄町」は私の公約のひとつです。長生郡市7市町村のなかでも一番人口の少ない長柄町。小さい町ながら、都会に近いが田園風景が残る貴重なポジションは子育て世代の移住を検討される方々にとって魅力的に映るものと確信しています。給食費無償化、子育て祝い金の充実、奨学金返済支援事業などの基礎的な施策は昨年までに整いました。子育て中の若い世代に「この町で子育てしたい」と感じてもらえる具体的な施策を更に進めてまいります。

町内の高齢者の方々に今、一番足りていないことは日常生活の移動手段です。町として何ができるか、身の丈にあった最善の方法を検討してまいります。

昨今の短時間での局所的な大雨は、これまでの予測と経験をはるかに超えています。今のままでは対処できないことは明らかです。国や県、流域自治体とタイアップした抜本的な治水対策にしっかりと取り組んでまいります。

現在、令和6年度の予算案づくりの佳境を迎えております。議会をはじめ、広く町民の皆さまのご理解とご支援をいただきながら、ふるさとながらの創生に向けて邁進してまいります。町長に就任させて頂き、今年三年目を迎えます。折しも今年の干支は辰。辰年は「活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年」だと言われています。とことん町民目線を意識し、町民の皆様が「長柄町は変わった！」と実感できるまちづくりを目指します。

皆様にとって飛翔の年となりますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

令和6年1月1日  
長柄町長 月岡清孝